

おかもと陽子通信

2014年7・8月 第7号

(6月議会)



守りたい! あなたのいのち、生活を!!

発行) 宗像市議会議員 岡本陽子

自宅 福岡県宗像市自由ヶ丘 7-6-1

TEL/FAX (0940)25-5344

ホームページ <http://www.okamoto-youko.jp/>

メール info@okamoto-youko.jp

ご意見・ご要望はホームページからも投稿できます。

何でもお気軽にご相談ください。



平成26年度予算

一般
会計



特別
会計



企業
会計



予算
総額



約 348 億 8,290 万円

福祉、教育などの
基本的な経費

約 196 億 3,764 万円

国民健康保険事業など
7 会計

約 44 億 2,065 万円

下水道事業の
1 会計

過去最高の

589 億 4,119 万円

少子高齢化など本市の将来を見据えた事業に取り組む予算に

市税減少、扶助費増、建物の老朽化などの課題を踏まえた上で行財政改革を進めながら、安全・安心、子育て、健康長寿などの重点分野、宗像ブランドをイメージできる事業、観光、スポーツ振興による交流人口増でまちの活性化に取り組み、定住化を積極的に推進する事業中心に予算が組み込まれました。

市財政に影響する現状の課題

1. 市税の減少 97 億 7,237 万円前年度比 1,980 万円 ↓

2. 社会保障関係経費の増加 105 億 8,247 万円 前年度比 4 億 5431 万円 ↑ (+4.5%)

◆扶助費 72 億 8,592 万円 (児童福祉費、生活保護、障害者福祉など)

前年度比 2 億 2,586 万円 ↑ (+3.2%)

◆繰出金 32 億 9,655 万円 (国保特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計など)

前年度比 2 億 2845 万円 ↑ (+7.4%)

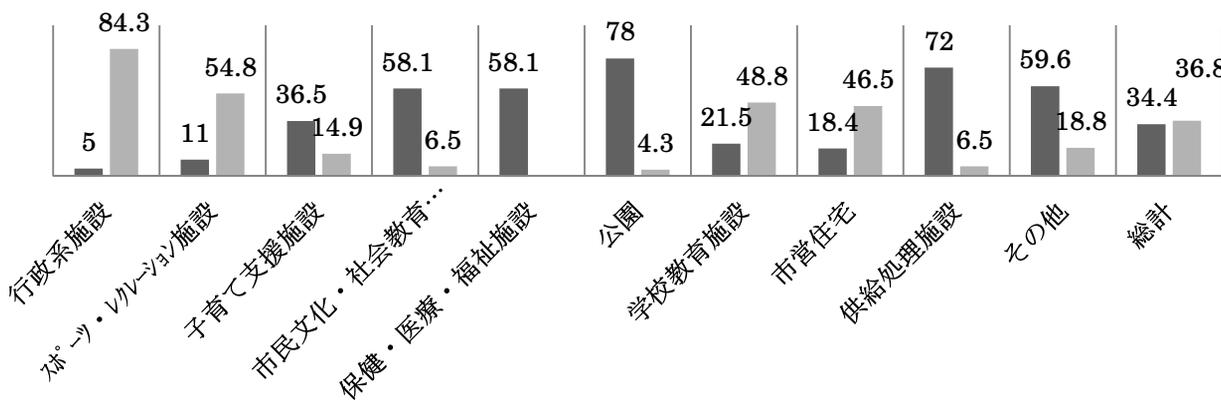
扶助費

平成 15 年度から平成 24 年度までの 10 年間で 179% の伸び

3. 市の財政に大きな影響を及ぼすアセットマネジメント (公共施設の維持管理・更新)

経過年別用途延床面積割合

■ 20~30年未満 ■ 30年~50年未満



10 年後は公共施設の 7 割強が築 30 年以上
今後 30 年間の更新費の総額

約 670 億円、1 年平均約 22 億円との予測

☑保育所保育実施事業費

認定子ども園：東海大付属自由ヶ丘

幼稚園に新設・日の里東保育園全面改築

(16億7,764万円)



☑乳幼児医療費

医療費小6までを

入院費中3まで拡充

(3億3,876万円)

☑学校教育一般事務費

電子黒板6校導入

モデル校2校にタブレット導入

(1億5,371万円)



☑世界遺産登録事業費

沖ノ島世界遺産群

登録推進の啓発事業

(6,983万円)

☑総合スポーツセンター整備事業費

総合スポーツセンター、審議会設置

基本構想、基本計画策定

(1,200万円)



☑防犯街灯整備事業費

市道上の一部防犯灯のLED化

設置のための調査

(1,000万円)

☑東部観光拠点施設管理運営費

今秋唐津街道赤間宿にオープン



(900万円)

☑アセットマネジメント策定事業費

今後の公共施設の最適配置や更

新・維持管理計画を策定

(767万円)



クローズアップ

一般質問 1

岡本 陽子

2025年は団塊の世代が75歳を超え、本市においても加齢による老化現象、体力低下が認められる人が増えることは予測されます。脳血管疾患、がん、糖尿病などの生活習慣病も増加の一途を辿っており、今後も、医療、介護にかかる費用は増加することが見込まれます。今からこうした本市の将来を見据え、運動による健康づくり、食生活改善や健診による自己管理などによって、市民が病気を未然に防ぐ疾病予防の意識を高められる環境整備に取り組む必要があると考えます。本市に必要な健康づくりのためのスポーツ・運動に対する考え方、疾病予防に必要な政策が何かを質問しました。特に第2次スポーツ推進計画において、健康に関する視点が不足していること、乳幼児期から老年期各段階におけるスポーツの目的を明確にすることを訴え、執行部からは、今後地域での健康づくりのシステム、スポーツと健康に関する組織の連携を強化するしくみをつくるとの答弁がありました。

公明党石松議員が施設老朽化問題等、市長の施政方針に対し代表質問。本会議においては、景観条例など29議案を可決。集団的自衛権行使の撤回を求める意見書案は否決されました。



《2025年を意識した健康づくり、疾病予防対策を》

一般質問 2

《シティプロモーションの効果は》

まちの魅力を磨きあげ、まちが持つ様々な地域資源を外に向けてアピールすることなどで、自らのまちの知名度や好感度を上げ、地域そのものを全国に売り込む「シティプロモーション」。その取り組みによって都市ブランド、定住化推進という目的が達成できているのか。その成果は。宗像を知ってもらい、来てもらい、気に入る、住んでもらう事を目的とするシティプロモーションの対象となるのは、市民以外の人だと感じるが、本市市民に対する効果があるのか。シティプロモーションは子育て、定住化推進を目的としているが、その目的が果たしているかを質問。定住化のためには、宗像を知ってもらう事が優先であるため、観光を中心に本市の魅力をメディア等を通して訴える時期である。今後、本来の目的である定住化に向けてどのような効果があるかインターネットを利用したアンケートにて評価を行うと答弁がありました。



シティプロモーション
使用媒体および執行額
平成25年度

約1,469万円

- ①広告②新聞③テレビ
- ④イベント ⑤看板
- ⑥パンフレット ⑦のぼり
- ⑧ポスター
- ⑨ステッカー
- ⑩チラシ

総合スポーツセンター整備に議論集中、一般会計予算委員会

現行の3体育館を統廃合し総合スポーツセンターを整備する予算が計上されました。「予想以上に大きなものを造り将来に大きな借金を残す事になるのではと心配」など否定的な指摘もありました。予算委員会では1200万円の今年度予算を全額減額する修正案が提出されましたが賛成少数で否決。本会議採決では、13対5の大差で可決。公明党は「広域連携や将来的な維持管理の観点から、身の丈に合った中規模程度の大会を誘致すべき」と主張し、一般会計予算案に対しては賛成しました。

出会い、語り

7月7日宗像市に、大雨、雷注意報が発令されました。築40年以上の家で一人暮らしの高齢者Sさん宅では家の中に滝のような雨漏り。急いで駆けつけましたが応急処置で屋根にビニールシートを掛けたくても屋根崩壊の恐れあり。結局は、家の中に雨漏り除けのバケツを置くしか成す術がありませんでした。他に住む場所の確保をと考えても家族の同意が必要です。「まだ一人で生活できる。という本人の意志を大切にしたい。」それよりも安全確保をという周囲の考えとの狭間で安全確保の道を選んでいただきたいとお願いしましたが、未だ結論は出ていません。家族が遠くに住む高齢者の一人暮らし。その現実を垣間見た思いです。

